

表（１） 支援学校「幼稚部・小学部共通」・「小学部」・「中学部」・「高等部」

校種等	模 擬 授 業 の 内 容
支援学校 幼稚部・小学部共通、 小学部	≪ 特別支援学校 幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領 P82 [生活] 2 各段階の目標及び内容 ≫ ○ 1段階 (2) 内容 サ 生命・自然 (ア) 身の回りにある生命や自然に気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする。
支援学校 中学部	≪ 特別支援学校 幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領 P180 [職業・家庭] 2 各段階の目標及び内容 ≫ ○ 1段階 (2) 内容 職業分野 B 情報機器の活用 イ コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えること。
支援学校 高等部	≪ 特別支援学校 高等部学習指導要領 P242 [家庭] 2 各段階の目標及び内容 ≫ ○ 2段階 (2) 内容 B 衣食住の生活 イ 日常食の調理 (ア) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理が適切にできること。

表（２） 上記（１）以外の受験者
【小学校・小中いきいき連携】

校種等・教科(科目)	模 擬 授 業 の 内 容
小学校 小中いきいき連携	≪ 小学校学習指導要領 P108 国語 [第3学年及び第4学年] 2 内容 ≫ C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること。
※ 国語・社会・算数・理科・英語 から一つ選択して模擬授業を行うこと。	≪ 小学校学習指導要領 P58～59 社会 [第4学年] 2 内容 ≫ (3) 自然災害から人々を守る活動について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりして、まとめること。
	≪ 小学校学習指導要領 P122 算数 [第2学年] 2 内容 ≫ C 測定 (1) 量の単位と測定に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 身の回りのものの特徴に着目し、目的に応じた単位で量の大きさを的確に表現したり、比べたりすること。
	≪ 小学校学習指導要領 P89～90 理科 [第6学年の目標及び内容] 2 第6学年の内容 ≫ B 生命・地球 (4) 土地のつくりと変化 土地のつくりと変化について、土地やその中に含まれる物に着目して、土地のつくりやでき方を多面的に調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (イ) 地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってできること。
	≪ 小学校学習指導要領 P157～158 外国語 英語 2 内容 [第5学年及び第6学年] ≫ (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項 オ 書くこと (イ) 相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動。

【中学校】

校種等・教科(科目)	模 擬 授 業 の 内 容
中学校・国語	<< 中学校学習指導要領 P60 国語 第1学年の内容 2 [思考力、判断力、表現力等] >> B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えること。
中学校・社会 ※ 地理的分野・歴史的分野・公民的分野から一つ選択して模擬授業を行うこと。	<< 中学校学習指導要領 P43 社会 [地理的分野] 2 内容 >> B 世界の様々な地域 (1) 世界各地の人々の生活と環境 ア 次のような知識を身に付けること。 (イ) 世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解すること。その際、世界の主な宗教の分布についても理解すること。 << 中学校学習指導要領 P99～100 社会 [歴史的分野] 2 内容 >> B 近世までの日本とアジア (2) 中世の日本 ア 次のような知識を身に付けること。 (ア) 武家政治の成立とユーラシアの交流 鎌倉幕府の成立、元寇(モンゴル帝国の襲来)などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解すること。 << 中学校学習指導要領 P135 社会 [公民的分野] 2 内容 >> A 私たちと現代社会 (1) 私たちが生きる現代社会と文化の特色 ア 次のような知識を身に付けること。 (イ) 現代社会における文化の意義や影響について理解すること。
中学校・数学	<< 中学校学習指導要領 P105～106 数学 [第2学年] 2 内容 >> A 数と式 (2) 連立二元一次方程式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 一元一次方程式と関連付けて、連立二元一次方程式を解く方法を考察し表現すること。
中学校・理科 ※四つの中から一つ選択して模擬授業を行うこと。	<< 中学校学習指導要領 P44 理科 [第1分野] 2 内容 >> (3) 電流とその利用 ア 電流、磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連付けながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (イ) 電流と磁界 ㊦ 電磁誘導と発電 磁石とコイルを用いた実験を行い、コイルや磁石を動かすことにより電流が得られることを見いだして理解するとともに、直流と交流の違いを理解すること。 << 中学校学習指導要領 P35～36 理科 [第1分野] 2 内容 >> (2) 身の回りの物質 ア 身の回りの物質の性質や変化に着目しながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア) 物質のすがた ㊦ 身の回りの物質とその性質 身の回りの物質の性質を様々な方法で調べる実験を行い、物質には密度や加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを見いだして理解するとともに、実験器具の操作、記録の仕方などの技能を身に付けること。 << 中学校学習指導要領 P86 理科 [第2分野] 2 内容 >> (3) 生物の体のつくりと働き ア 生物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア) 生物と細胞 ㊦ 生物と細胞 生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていること及び植物と動物の細胞のつくりの特徴を見いだして理解するとともに、観察器具の操作、観察記録の仕方などの技能を身に付けること。

校種等・教科(科目)	模 擬 授 業 の 内 容
中学校・理科 ※四つの中から一つ 選択して模擬授業を 行うこと。	≪ 中学校学習指導要領 P92～93 理科 [第2分野] 2 内容 ≫ (4) 気象とその変化 ア 気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、 実験などに関する技能を身に付けること。 (ア) 気象観測 ① 気象観測 校庭などで気象観測を継続的に行い、その観測記録などに基づいて、気温、湿度、気圧、 風向などの変化と天気との関係を見いだして理解するとともに、観測方法や記録の仕方を 身に付けること。
中学校・音楽	≪ 中学校学習指導要領 P43 音楽 [第1学年] 2 内容 ≫ A 表現 (2) 器楽の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫すること。
中学校・美術	≪ 中学校学習指導要領 PI01 美術 [第2学年及び第3学年] 2 内容 ≫ B 鑑賞 (1) 鑑賞の活動を通して、次のとおり鑑賞に関する資質・能力を育成する。 ア 美術作品などの見方や感じ方を深める活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることが できるよう指導する。 (イ) 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と 創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。
中学校・保健体育	≪ 中学校学習指導要領 PI92 保健体育 [第1学年及び第2学年 体育分野] 2 内容 ≫ H 体育理論 (2) 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、課題を発見し、その解決を目指し た活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について理解すること。 (ウ) 運動やスポーツを行う際は、その特性や目的、発達の段階や体調などを踏まえて運動を選ぶ など、健康・安全に留意する必要があること。
中学校・技術	≪ 中学校学習指導要領 P41 技術・家庭 [技術分野] 2 内容 ≫ C エネルギー変換の技術 (1) 生活や社会を支えるエネルギー変換の技術について調べる活動などを通して、次の事項を身に付け ることができるよう指導する。 ア 電気、運動、熱の特性等の原理・法則と、エネルギーの変換や伝達等に関わる基礎的な技術の 仕組み及び保守点検の必要性について理解すること。
中学校・家庭	≪ 中学校学習指導要領 PI09 技術・家庭 [家庭分野] 2 内容 ≫ C 消費生活・環境 (1) 金銭の管理と購入 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に 必要な情報の収集・整理が適切にできること。
中学校・英語	≪ 中学校学習指導要領 P53 外国語 英語 2 内容 ≫ (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることにに関する事項 ウ 日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして互い に事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合うこと。

【高等学校】

校種等・教科(科目)	模 擬 授 業 の 内 容
高等学校・国語	<p>≪ 高等学校学習指導要領 P92 第1 現代の国語 2 内容 ≫</p> <p>B 書くこと</p> <p>(1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。</p>
高等学校・地理歴史 (日本史)	<p>≪ 高等学校学習指導要領 P218 第4 日本史探究 2 内容 ≫</p> <p>B 中世の日本と世界</p> <p>(1) 中世への転換と歴史的環境</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現すること。</p>
高等学校・地理歴史 (世界史)	<p>≪ 高等学校学習指導要領 P293 第5 世界史探究 2 内容 ≫</p> <p>B 諸地域の歴史的特質の形成</p> <p>(2) 古代文明の歴史的特質</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p>
高等学校・地理歴史 (地理)	<p>≪ 高等学校学習指導要領 P110 第2 地理探究 2 内容 ≫</p> <p>C 現代世界におけるこれからの日本の国土像</p> <p>(1) 持続可能な国土像の探究</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結び付き、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現すること。</p>
高等学校・公民 (政治・経済)	<p>≪ 高等学校学習指導要領 P140 第3 政治・経済 2 内容 ≫</p> <p>A 現代日本における政治・経済の諸課題</p> <p>(2) 現代日本における政治・経済の諸課題の探究</p> <p>ア 少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、地域社会の自立と政府、多様な働き方・生き方を可能にする社会、産業構造の変化と起業、歳入・歳出両面での財政健全化、食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現、防災と安全・安心な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述すること。</p>
高等学校・公民 (倫理)	<p>≪ 高等学校学習指導要領 P92 第2 倫理 2 内容 ≫</p> <p>A 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方</p> <p>(1) 人間としての在り方生き方の自覚</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(オ) 古今東西の先哲の思想に関する原典の日本語訳などの諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を読み取る技能を身に付けること。</p>
高等学校・数学	<p>≪ 高等学校学習指導要領 P34 第1 数学I 2 内容 ≫</p> <p>(1) 数と式</p> <p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(イ) 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。</p>
高等学校・理科 (物理)	<p>≪ 高等学校学習指導要領 P77 第3 物理 2 内容 ≫</p> <p>(4) 原子</p> <p>ア 原子について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 電子と光</p> <p>① 粒子性と波動性 電子や光の粒子性と波動性について理解すること。</p>
高等学校・理科 (化学)	<p>≪ 高等学校学習指導要領 P99 第5 化学 2 内容 ≫</p> <p>(1) 物質の状態と平衡</p> <p>ア 物質の状態と変化、溶液と平衡について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 物質の状態と変化</p> <p>① 気体の性質 気体の体積と圧力や温度との関係を理解すること。</p>

校種等・教科(科目)	模 擬 授 業 の 内 容
高等学校・理科 (生物)	≪ 高等学校学習指導要領 P116 第6 生物基礎 2 内容 ≫ (1) 生物の特徴 ア 生物の特徴について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア) 生物の特徴 ① 生物とエネルギー 生物とエネルギーに関する資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解すること。また、光合成や呼吸などの代謝とATPを関連付けて理解すること。
高等学校・理科 (地学)	≪ 高等学校学習指導要領 P154 第8 地学基礎 2 内容 ≫ (1) 地球のすがた ア 地球のすがたについて、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ウ) 大気と海洋 ① 大気と海水の運動 大気と海水の運動に関する資料に基づいて、大気と海洋の大循環について理解するとともに、緯度により太陽放射の受熱量が異なることなどから、地球規模で熱が輸送されていることを見いだして理解すること。
高等学校・音楽	≪ 高等学校学習指導要領 P33 第1 音楽I 3 内容 ≫ A 表現 (2) 器楽 ア 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫すること。
高等学校・美術	≪ 高等学校学習指導要領 P123 第4 美術I 3 内容 ≫ B 鑑賞 (1) 鑑賞 ア 美術作品などの見方や感じ方を深める鑑賞 (ウ) 映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めること。
高等学校・書道	≪ 高等学校学習指導要領 P271 第10 書道I 3 内容 ≫ A 表現 (1) 漢字仮名交じりの書 イ 次の(ア)及び(イ)について理解すること。 (ア) 用具・用材の特徴と表現効果との関わり (イ) 名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わり
高等学校・保健体育	≪ 高等学校学習指導要領 P210 第2 各科目の目標及び内容 「保健」 3 内容 ≫ (4) 健康を支える環境づくり ア 健康を支える環境づくりについて理解を深めること。 (ア) 環境と健康 人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること。また、環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとすよう基準が設定され、それに基づき行われていること。
高等学校・家庭	≪ 高等学校学習指導要領 P74 第2 家庭総合 2 内容とその取扱い ≫ C 持続可能な消費生活・環境 (1) 生活における経済の計画 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 生涯を見通した生活における経済の管理や計画、リスク管理の考え方について理解を深め、情報の収集・整理が適切にできること。
高等学校・農業	≪ 高等学校学習指導要領 P58 第6 野菜 2 内容 ≫ [指導項目] (4) 野菜の栽培と管理・評価 オ 機械・施設の利用
高等学校・工業 (機械)	≪ 高等学校学習指導要領 P21 第1 工業技術基礎 2 内容 ≫ [指導項目] (1) 人と技術と環境 イ 技術者の使命と責任
高等学校・工業 (電気)	≪ 高等学校学習指導要領 P132 第20 電力技術 2 内容 ≫ [指導項目] (1) 発電 ウ 再生可能エネルギーによる発電

校種等・教科(科目)	模 擬 授 業 の 内 容
高等学校・商業	≪ 高等学校学習指導要領 P64 第7 観光ビジネス 2 内容 ≫ [指導項目] (2) 観光資源と観光政策 ア 国内の観光資源
高等学校・英語	≪ 高等学校学習指導要領 P53 第2 英語コミュニケーションI 2 内容 ≫ (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項 カ 書くこと (1) 社会的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。
高等学校・看護	≪ 高等学校学習指導要領 P81 第11 看護の統合と実践 2 内容とその取扱い ≫ [指導項目] (2) 災害看護 イ 災害看護の特徴
高等学校・情報	≪ 高等学校学習指導要領 P27 第1 情報I 2 内容とその取扱い ≫ (2) コミュニケーションと情報デザイン ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解すること。
高等学校・公民・福祉共通	≪ 高等学校学習指導要領 P39 第4 生活支援技術 2 内容とその取扱い ≫ [指導項目] (2) 自立に向けた生活支援 キ 排泄の支援

【養護教諭、栄養教諭、支援学校・自立活動（肢体不自由教育）、理学療法】

校種等・教科（科目）	模 擬 授 業 の 内 容
養護教諭	≪ 中学校学習指導要領 P214～215 保健体育〔保健分野〕 2 内容 ≫ (2) 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 心身の機能の発達と心の健康について理解を深めるとともに、ストレスへの対処をすること。 (イ) 精神と身体は、相互に影響を与え、関わっていること。欲求やストレスは、心身に影響を与えることがあること。また、心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処する必要があること。
栄養教諭	≪ 小学校学習指導要領 P36～37 家庭 3 家庭科の内容 ≫ B 衣食住の生活 (2) 調理の基礎 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (オ) 伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方を理解し、適切にできること。
自立活動 (肢体不自由教育)	≪ 特別支援学校 幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領 P199～200 第7章 自立活動 2 内容 ≫ 5 身体の動き (4) 身体の移動能力に関すること。
理学療法	≪ 特別支援学校 高等部学習指導要領 P105 理学療法〔人体の構造と機能〕 2 内容 ≫ [指導項目] (1) 人体の構造 エ 機能解剖

◎ 表中に示されている各学習指導要領のページ番号は、文部科学省 (mext.go.jp) の WEB ページ上にある平成 29・30・31 年改訂学習指導要領 (https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm) に掲載されている箇所のページ番号を表しています。詳細な内容が別ページに記載されている場合もありますので注意してください。

◎ 模擬授業の内容に関する質問については、お答えできません。